

九州保健福祉大学 通信教育部社会福祉学部臨床福祉学科

I. 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

通信教育部社会福祉学部臨床福祉学科(以下、「本学科」という)では、本学の課程を修め、124単位(内スクーリング単位30単位)の単位修得の条件を充たし、福祉現場のニーズに対応できる専門知識・技術を修得し、専門職として活躍できうる実践力を有する福祉・教育人材として、下記の力を身につけた人に対して学位を授与します。

(1) 社会貢献力

福祉を担う人材として、社会的に課題を抱えた地域・人々に対して貢献することができる。

(2) 行動力

福祉社会を担う者として、思考力、洞察力、判断力、豊かな人間性と倫理観を身につけ、社会や他者のために責任ある行動をとることができる。

(3) 福祉実践力

地域社会や支援対象者に対して、社会福祉の知識、技術を駆使し、課題の発見から解決を導き出していくことができる。

(4) コミュニケーション能力

社会的に課題を抱えた地域・人々、協働する多機関や多職種等とスムーズにコミュニケーションを図り、適切な支援に結び付けることができる。

(5) 教育能力

地域社会の福祉力および社会福祉現場の専門性を向上させるための教育をすることができる。

(6) 研究能力

社会や福祉の現場の課題を的確に把握し、情報を集め、分析し、考察することができる。

(7) 自己研鑽力

福祉の進歩と改善に対応するため、社会や福祉現場の動向を把握し、生涯にわたり自己研鑽を続けることができる。

II. 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

本学科は、建学の理念および卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げた目標を達成するために、次のような教育内容と方法を取り入れた授業を実施し、教育評価を行います。

福祉専門職に必要な基礎的知識・技能・態度に加えて、福祉現場に対応した実践的能力を身につけることを目的にカリキュラムを構成しています。

履修系統図およびモデルカリキュラムを示し、個々の学生が目的とする資格取得のための道筋をわかりやすく明示します。

1 教育内容

- (1) 社会福祉士国家試験受験資格、高等学校教諭一種免許状(福祉)、認定心理士などの取得に必要な科目を、1年次から体系的・系統的に配置します。
- (2) 国家試験合格に向けて希望者に対する学習機会を設け、各自の能力を分析し、主体的な学習を支援します。
- (3) 社会福祉や教育等の現場で求められる知識・技能の修得のための専門教育科目を、1年次から4年次にかけて体系性・順序性を考えて配置します。
- (4) 「総合福祉研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を通して、地域社会などの諸問題に対して、課題の発見から解決能力の育成をはかります。
- (5) 「心理学科目」分野を設定し、1年次から4年次にかけて体系性・順序性を考えて配置します。

2 教育方法

- (6) 添削科目については、1単位につき1課題の添削課題を与えます。
- (7) スクーリング科目では、土日を中心に講義を実施し、テキストでは補えない部分の学習を集中型で実施します。
- (8) 社会福祉士国家試験受験資格取得のための実習では、事前教育のなかで大学側実習指導教員と学生との個々の面談を実施し、実習に臨むにあたっての意思確認をおこなったうえで、あらかじめ実習の許可を受けた者が指定の施設等において24日間以上かつ180時間以上の実習をおこないます。実習中は定期的に巡回指導と帰校指導を実施し個別の指導を徹底します。

3 教育評価

- (9) 社会福祉士国家試験受験資格に必要な実習の履修に当たっては、所定の科目の添削課題の合格を求めます。

- (10) 科目単位認定試験の受験は、所定の添削課題の合格を求めます。
- (11) 各科目の評価は、科目単位認定試験の結果によって評価を行います。

III. 入学者選抜の方針(アドミッション・ポリシー)

本学科は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

- (1) 高等学校の教育課程を幅広く修得している。
- (2) 福祉のこころを大切にし、人の心の痛みを感じとることができる。
- (3) 人を支援することに関心を持っている。
- (4) ボランティア活動に関心があり、他の人達と協働して活動や学習をすることに進んで参加できる。
- (5) グループワークなどで、他の人と協力しながら、課題をやり遂げる意欲がある。
- (6) 福祉、医療、教育領域の専門性の高い仕事に就く意欲がある。